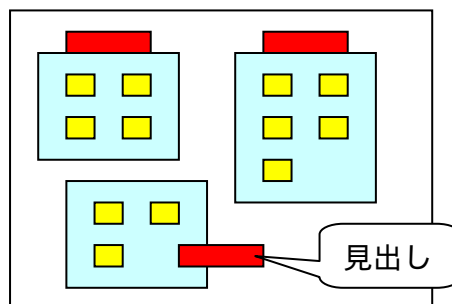
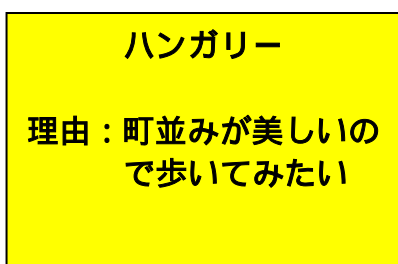


一歩上行くカード活用法「レトロカード」 - 発見的アプローチ -

グループ討議を行う際、ポストイットカードに意見を書き、似たような記述内容のものを集めて模造紙に貼り付ける、という作業をします。この際、見出しの言葉が決まらない、あるいは、グルーピングが決着しないという状態がよく発生します。そして、一旦グルーピングができると、その形を壊したくないがために、カードを模造紙にテープで固定してしまうことがあります。しかし、それをやってしまった途端に、あなたの思考は途切れてしまいます。グルーピングが目的化し、次に進めなくなってしまいます。テープで貼り付けてはいけません。

例題です。グループの全員に「今行きたい海外の都市とその理由」をカードに書いてもらいました。その結果、表1のようなカードが出され、見出しの言葉に「地域」を持ってきて、グルーピングしました。(これは、実際に主婦グループの会議で出されたカードです。)

カードの記述例



模造紙のイメージ

表1. 海外旅行の行き先に関するカード(基本形)

地域	都市名(国名)	旅行の目的(カードの記述内容)
欧州	ハンガリー	町並みが美しいので歩いてみたい
	リスボン	ヨーロッパ最西端の町を歩いてみたい
	ローマ	ピザ(マルゲリータ)を食べたい
	ドイツ	歴史を感じたい
アフリカ	カイロ	ピラミッドを見たい
南米	サンパウロ	サンバを踊りたい
北米	ニューヨーク	街を歩く人を眺めたい
	ソルトレーク	パウダースノーを見たい
	シアトル	マリナーズの試合を見て「イチロー！」と叫びたい
	カナダ	自然・スキー・食べ物
アジア	バリ島	踊りと指圧
南極	南極	冰山を見たい
日本	京都	日本人として一度は買物をしたい
	尾道(広島県)	坂道などのまち並みを見たい
	弘前市(青森県)	しだれ桜を見てみたい

まずは、こうしたグルーピングをしておいて、エクセルなどの表計算ソフトに表1の通りに入力してデータ化します。そして、この表を用いて、もう一つ別のグルーピングの言葉 = 見出しを考えます。これが、レトロカードです。例えば、以下のようなものです。



表2 . 基本形にレトロカードをつける

地域	都市名(国名)	旅行の目的(カードの記述内容)	レトロカード1
欧州	ハンガリー	町並みが美しいので歩いてみたい	見る
欧州	リスボン	ヨーロッパ最西端の町を歩いてみたい	見る
欧州	ローマ	ピザ(マルゲリータ)を食べたい	食べる
欧州	ドイツ	歴史を感じたい	感じる
アフリカ	カイロ	ピラミッドを見たい	見る
南米	サンパウロ	サンバを踊りたい	する
北米	ニューヨーク	街を歩く人を眺めたい	見る
北米	ソルトレーク	パウダースノーを見たい	見る
北米	シアトル	マリナーズの試合を見て「イチロー！」と叫びたい	叫ぶ
北米	カナダ	自然・スキー・食べ物	食べる
アジア	バリ島	踊りと指圧	する
南極	南極	冰山を見たい	見る
日本	京都	日本人として一度は買物をしたい	買う
日本	尾道(広島県)	坂道などのまち並みを見たい	見る
日本	弘前市(青森県)	しだれ桜を見てみたい	見る

次に、レトロカードをソートキーにして、行を並べ替えます。



表2 . レトロカードをキーにしてソートする

地域	都市名(国名)	旅行の目的(カードの記述内容)	レトロカード
日本	京都	日本人として一度は買物をしたい	買う
北米	シアトル	マリナーズの試合を見て「イチロー！」と叫びたい	叫ぶ
南米	サンパウロ	サンバを踊りたい	する
アジア	バリ島	踊りと指圧	する
北米	カナダ	自然・スキー・食べ物	する
欧州	ローマ	ピザ(マルゲリータ)を食べたい	食べる
欧州	ハンガリー	町並みが美しいので歩いてみたい	見る
欧州	リスボン	ヨーロッパ最西端の町を歩いてみたい	見る
日本	尾道(広島県)	坂道などのまち並みを見たい	見る
北米	ニューヨーク	街を歩く人を眺めたい	見る
アフリカ	カイロ	ピラミッドを見たい	見る
北米	ソルトレーク	パウダースノーを見たい	見る
南極	南極	冰山を見たい	見る
日本	弘前市(青森県)	しだれ桜を見てみたい	見る
欧州	ドイツ	歴史を感じたい	感じる

並べ替えた結果、

「見る系」の旅をしたがっている人が多いようだ。
と見えそうです。これも一つの発見です。

さらに別のレトロカードを使って、行を並べ替えてみました。今度は、都市の持つイメージのような言葉、その都市に寄せる感情のような言葉でくくって見たわけです。

するとどうでしょう。最初の見出しの言葉である「地域」とレトロカード1、2との関係で、面白いことを発見しました。

落ち着いた大人の旅は、欧州と日本の古都を目指す。

軽いノリの旅は、踊りが決め手。

変わり者は、とんがったものを見たがり、南半球に行く。

大都会の雑踏の中にも、大自然の雪の中にも、癒しを求めることができる。

というような発見です。

表3. さらに別のレトロカードをキーにソート

地域	都市名(国名)	旅行の目的(カードの記述内容)	レトロカード1	レトロカード2
欧州	ハンガリー	町並みが美しいので歩いてみたい	見る	落ち着いて
欧州	リスボン	ヨーロッパ最西端の町を歩いてみたい	見る	落ち着いて
欧州	ドイツ	歴史を感じたい	感じる	落ち着いて
日本	京都	日本人として一度は買物をしたい	買う	落ち着いて
日本	尾道	坂道などのまち並みを見たい	見る	落ち着いて
日本	弘前市	しだれ桜を見てみたい	見る	落ち着いて
北米	カナダ	自然・スキー・食べ物	する	開放感を
欧州	ローマ	ピザ(マルゲリータ)を食べたい	食べる	軽いノリ
南米	サンパウロ	サンバを踊りたい	する	軽いノリ
北米	シアトル	マリナーズの試合を見て「イチロー！」と叫ぶ	叫ぶ	軽いノリ
アジア	バリ島	踊りと指圧	する	軽いノリ
アフリカ	カイロ	ピラミッドを見たい	見る	変わり者
南極	南極	冰山を見たい	見る	変わり者
北米	ニューヨーク	街を歩く人を眺めたい	見る	癒し
北米	ソルトレーク	パウダースノーを見たい	見る	癒し

レトロカードとは、RETRO Card のことです。reverse transcript operation card。逆転写意伝詞です。これは、前田の造語で、生物学の逆転写遺伝子()から着想しました。

生物の染色体にある遺伝情報は、DNAからRNAへ転写され、RNAからたんぱく質に翻訳される。ある種のRNAウイルスでは、RNAを鋳型にしてDNAを合成する逆転写を起こす。

要は、何が逆転写で発見的なのか？

表側に注目してください。表1は、単なる地域別・都市名リストに過ぎませんでした。欧州、北米というような省エネ型の脳に馴染んだ一覧表は、見た目は美しいのですが、そこからは特別な発見はありません。逆転写操作は、この固定的な分類項目を壊し、組み替える作業です。

表1で、欧州は欧州できれいにまとまっていた「地域」の言葉は、表3では、レトロカード2によって並べ替えられています。都市名・国名を統括する、樹形図の頂点に位置していた言葉が、その地位を失っています。その意味で、レトロカードは、逆転写遺伝子の働きに似ています。また、逆転写が生じた後で、最初の分類項目である「地域（欧州とかアジアという言葉に）」に意味があることに気付きます。つまり、欧州には、「落ち着いた」というイメージがあるし、それは日本の古都につながるものである、という発見です。このように、レトロカードは、逆転写をしながら意を伝える詞（ことば）ですから、“意伝詞”と呼びます。

表1

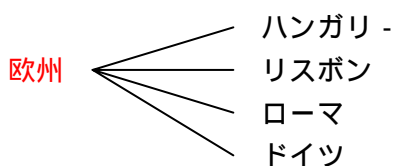
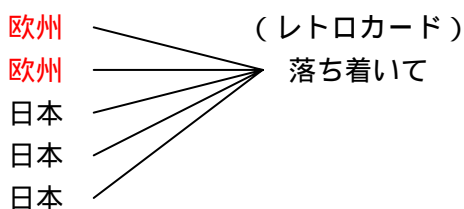


表3



決まりきった、条件反射的な分類項目が、私たちの頭を支配しています。欽ちゃんの「良い子、悪い子、ふつうの子」のように、私たちの頭の中はパターン化されていて、そのパターンにものごとを当てはめようとしています。そういう意味で脳は、省エネ回路になっているのです。

模造紙の上でカードをグルーピングする際に、あらかじめ見出しの言葉を決めておいて、カードを配分する作業を始める人がいます。男の人で、管理職で、年配であればあるほど、その傾向は強いようです。いずれにしても、省エネ型の脳を持つ人間は、他人の思考パターンを受け入れることに苦痛を感じるようです。模造紙の上でのグルーピング作業で、誰しも完璧に晴れ晴れとした気分を味わうことがないのは、そのためだと思われます。

グルーピングは最終目的ではなく、途中経過です。「変わり者は、とんがったものを見たり、南半球に行く」などは、レトロカードを使った並べ替え作業の過程で偶然に見つかるものです。だから、発見的アプローチなのです。この作業をスピードアップする上で、パソコンの表計算ソフトを使いこなすことは不可欠です。また、「ニューヨークの夜景や雑踏に癒しを感じる」かどうか。そこは、言葉のセンス、感受性の問題であり、レトロカード（見出しの言葉）に凝ることが、逆転写作業の出来を左右します。

レトロカードの使い方の例

例えば、行政の年間事業予算は、通常部課ごとに整理されています。ある町で、年間200本の事業が予定されているとして、これを部課別ではなく、事業の目的別に組み替える作業を3つの住民グループで行います。200枚の事業名カードを3セット準備し、グループごとに「環境保全に資する事業」、「住民活力の発揮を前提にした事業」、「高齢者に嬉しい事業」というような見出しの言葉を出してカードを整理します。表3を参照してください。表側には第1グループ、レトロカード1には第2グループ、レトロカード2には第3グループの見出しの言葉を入れます。200枚のカードは各グループ共通です。これにソートをかけてみましょう。住民が、町の事業をどのように捉え、何を期待しているかが分かります。それが総合計画の理念や施策の体系と合致しているか確認してみましょう。政策評価や事業の優先順位付け、協働の推進に役立つ着想を得るまで、自分なりのレトロカードを追加しソートを繰り返しましょう。